

海外研修報告書

下記の通り、海外研修の報告をいたします。

記

氏名	小澤智子	所属	言語文化研究室
		職位	教授

研究課題	日米交流史（1940-1950 年代）に関する研究調査
研究先機関	アメリカン・フレンズ奉仕団アーカイヴス ラトガーズ大学図書館 ハヴァフォード大学図書館
主な滞在地 （国・都市名）	アメリカ合衆国首都ワシントン DC ペンシルベニア州フィラデルフィア ニュージャージー州ニューブランズウィック
渡航日程	2025 年 7 月 25 日 ～ 2025 年 8 月 6 日（13 日間）
研究目的・理由	おもな研究目的は、1940 年代から 1950 年代の環太平洋地域における人・もの・情報の移動を歴史的な資料から読み解きつつ、とくに人びとの経験にみる社会的な交渉や人びとの行為者性（エイジェンシー）を記録することである。第二次世界大戦とその前後の複雑な日米関係を背景に展開した人・もの・情報の移動・移送については未解明の部分が多く、今回はアメリカ合衆国に残っている歴史的資料の一部を調査することを目標とした。
研究成果発表予定 （展覧会、著書、論文発表等）	本調査研究の成果は、学会や研究会などで口頭発表を行ったうえで、論文原稿としてまとめ、広く公開する予定である。

研究内容

本テーマの研究調査として、以下3か所においておもに資料収集を行った。いずれの施設も、東京からはやや行きにくいところにあるが、日本（人）と深いかわりのある人物（たとえば、E・ヴァイニングとともに皇太子の家庭教師となったE・B・ローズなど）に関する歴史的な資料を多く所蔵している。

(1)アメリカン・フレンズ奉仕団（American Friends Service Committee）アーカイヴス

(2)ハヴァフォード大学（Haverford College）図書館

(3)ラトガーズ大学（Rutgers University）図書館

各箇所での調査内容は、以下のとおりである。

(1) アメリカン・フレンズ奉仕団アーカイヴスで全4日間（9時-16時）にわたり、日本（人）に関連した資料を閲覧し、収集した。閲覧した量としては、各年につき2～3箱分の資料があったため、全てをデータ化する時間はなかったが、時間の許す限り取得した。資料の多さと貴重さに驚かされた。

(2) ラトガーズ大学図書館内の **Special Collection** において資料群の中から日本（人）に関する資料を閲覧し、必要に応じてデータ化した。こちらも資料の膨大さに驚いたが、資料価値は高いと考えられる。



写真 1:ラトガーズ大学の巨大な図書館への入り口。

(3) ハヴァフォード大学図書館内の Quaker&Special Collections において、日本（人）関連資料を閲覧し、データ化した。



写真 2：ハヴァフォード大学図書館で請求した資料の一部。

さらに、スミソニアン博物館（ワシントン DC）の国立アメリカ歴史博物館学芸員との懇談の機会があった。加えて、スミソニアン国立ポートレート・ギャラリー訪問時には、学芸員から詳細な解説を受けた。展示物の芸術性のみならず、同館の展示に対する実直な想いが感じられ、現在のアメリカにおける文化活動の最前線を垣間見ることができた。

総じて、予定訪問先のすべてを順調に訪問することができ、いずれにおいても予想以上の収穫が得られた。とくに、各資料館を訪問し、それぞれの専門家と直接お話ができたことで得られたものは非常に大きい。ネット上の目録からは想定できない内容の貴重な資料を多数紹介していただき、時間的制約のために取得しきれなかった資料についても今後の依頼先が確保できた。今後、取得した資料を整理・検証し、論文執筆に向けて研究を進めていきたい。



写真 3：スミソニアンの国立ポートレート・ギャラリーで開催されている展示のポスター。右側のチラシ、特別展「権力のかたち」がとくに興味深く、現代アメリカ社会の様相が展示内容に投影されていた。

大学授業における
研究成果の還元

本調査研究は、人文系学術研究の基本的なフィールドワークの手法を用いているため、とくに若手研究者に対してアカデミック・スキル（調査方法など）を共有するのに役立つ。担当科目において調査方法や成果を還元する。現地の美術館・博物館・アーカイヴスについても授業内容に丁寧に反映させ、学生との議論につなげる。

研究日程（全滞在期間）

出発日 (現地時間)	出発地 (国・都市名)	到着日 (現地時間)	到着地 (国・都市名)	研究内容等	滞在 日数
7/25 (金)	東京 羽田空港	7/25 (金)	アメリカ合衆国 ワシントン DC	移動	1
7/26 (土)	ワシントン DC			調査の事前準備として、アポ調整および請求する資料の再確認を行った。今回の訪問先は3か所。スミソニアンの学芸員と懇談した。	2
7/27 (日)	ワシントン DC		ペンシルベニア州 フィラデルフィア	スミソニアンの国立郵便歴史博物館を訪問した。午後、長距離電車で移動した。	3
7/28 (月)	フィラデルフィア			アメリカン・フレンズ奉仕団の資料室で調査を行った。	4
7/29 (火)	フィラデルフィア		ニュージャージー 州ニューブランズ ウィック	ラトガーズ大学図書館で調査を行った。	5
7/30 (水)	フィラデルフィア			アメリカン・フレンズ奉仕団の資料室で調査を行った。	6
7/31 (木)	フィラデルフィア			アメリカン・フレンズ奉仕団の資料室で調査を行った。	7
8/1 (金)	フィラデルフィア		ワシントン DC	アメリカン・フレンズ奉仕団の資料室で調査を行った。夕方、長距離電車で移動した。	8
8/2 (土)	ワシントン DC			スミソニアンの国立ポートレート・ギャラリーを訪問した。学芸員の展示解説を聞き、情報交換を行った。	9
8/3 (日)	ワシントン DC			接写した資料のデータ整理および確認を行った。	10
8/4 (月)	フィラデルフィア			ハヴァフォード大学図書館の資料室で調査を行った。	11
8/5 (火)	ワシントン DC				12
		8/6 (水)	東京 羽田空港		